



2019.3.1 NO.78

保育室 すまいる

### <月のテーマ：期待する>

#### 年齢別 月の保育のねらい

##### <1歳児>

- 春を感じながら、戸外遊びや散歩を楽しむ。
- 友だちを気にかけて言葉や生活する中で必要な言葉をよく使う。

##### <2歳児>

- 生活に対して見通しを持ち、活動や身の回りのことを進んでやろうとする。
- 簡単なルールや約束を守って友だちと遊び、かかわりを深める。

##### <3歳児>

- 友だちと一緒に作ることや歌うことを楽しむ。
- 気の合う友だちと言葉のやりとりをしながら好きな遊びを楽しむ。

##### <4歳児>

- お互いの気持ちを認めながら、意欲的に遊んだり活動したりする。
- 自分の思いや考えを友だちに伝えながら、一緒にいろいろな活動に取り組む。

##### <5歳児>

- お互いの考えを出し合いながら、協力して遊びを進める。
- 就学への期待と自覚を持ち、見通しを持って生活する。



#### <亀岡神社にお散歩！！> 2019年2月27日

きっかけは、「今日のお昼のラーメンを美味しく食べたい。」「そのために、コミセンで運動したい」ということでした。でも、コミセンは、2月25日(月)に行って活動してきたので、次に上がった場所は、亀岡神社の石段登りでした。子どもたちに確認したら、「みんな行きたい！」という気持ちで、「小さい子たちはお留守番してもらってから、気づかれないように静かに準備しよう！」と静かに準備をして亀岡神社に出発しました。

神社の入り口で桜のつぼみの様子を観察しました。前日読んだ昔話『わらしべ長者』の話を少しなぞり、ネイチャーゲームのわらしべ長者を K 先生を中心に行いました。最初に自分の気になった自然物の一つを見つけ、次々に見つけた自然物と変えていく。変えたくない人はそのままでもOK！というルールのもとにスタートしました。わらしべ長者の話に出てくるような草を選んだり、石や笹を持つ。途中、シジウカラやヒヨドリ、トンビを観察、リュウノヒゲの青い実、小さなどんぐり（シラカシ）、アオキ、カラタチ、ラベンダー、フクジュソウ、タネツケバナ、ハコベ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ヨモギの葉、アジサイの冬芽（ヒアラブの王子様）等・・・春の花や種や実、野鳥を観察していました。子どもたちは、「これ、なあに？」と色々興味を持って、見つけることを楽しんでいました。

自分で見つけたものは、大切に持って帰ってきました。次の日、持ち帰った種などを箱に貼り、少し解説なども記入しました。「青い実は？」「これなに？」

「そうだったね・・・」と友だち同士質問し合ったり、あてっこしたりして楽しんでいました。箱で作った標本が出来上がると「博物館みたい・・・」と喜んでいた子どもたちでした。

本来でしたら、散歩に行った当日に標本作りをしたほうが色々覚えていることが多かったのではないかと思いましたが、一日たっても色々覚えていて、標本作りが、振り返りになったことは良かったなと思っています。

「また、桜の木のつぼみを見に、散歩にこようね」と次の約束をしました。

